

さいたま市立大宮北中学校

学校だより7月号

令和7年7月1日(火)



048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』

- ◆ たしかな学力
- ◆ ゆたかな心情
- ◆ たくましい身体

「君は君 我は我なり されど仲よき」

校長 廣江 剛

期末テストも終わり、夏休みが待ち遠しい時期になりました。先日行われた中学校総合体育大会には、私も教頭先生と手分けして全ての同好会の大会に足を運びました。どの会場に行っても生徒の皆さんから進んであいさつをしてくれたのでとても気持ちよく巡回することができました。白熱した試合が多く、戦っている選手も応援の生徒も一丸となって熱い声援を送っている姿が大変印象に残っています。団体種目での県大会出場は叶いませんでしたが、陸上競技部と硬式テニスに出場する選手がこの後、関東・全国を賭けて県大会に挑みます。中学生の成長の可能性は無限大です。最後まで全力を尽くしてきてほしいと願っています。



さて、6月17日(火)には、いじめ防止朝礼があり、校長講話をさせていただきました。全校生徒で「いじめはどうして起こるのか」「いじめはどうすればなくなるのか」について考えてもらう時間にしました。2年生の生徒から「いじめをする人は、ストレスを抱えているのではないか」という意見が出され、はっとさせられました。ストレスの多い社会を作っているのは大人の責任でもあると思ったからです。そして、1年生の生徒から「相手の嫌なところや短所も一つの個性と認めることができたらよい関係が築けるのではないか」という意見が出されました。この意見には、まさに脱帽でした。多様性の時代を生きていく皆さんの未来に大きな希望を感じた発言でした。最後に私が紹介した言葉「君は君 我は我なり されど仲良き」ですが、この言葉が好きな理由は、実は次のような出来事があったからです。僭越ながら紹介させていただきます。

もう、何十年も前の話です。『友情』などの小説で有名な作家、武者小路実篤(むしゃのこうじさねあつ)の記念館に行きました。売店に「君は君 我は我なり されど仲よき」と書かれた絵葉書が売られていました。絵はじゃがいもと玉ねぎが何か描かれていた気がします。私はその絵葉書がとても気に入って、地方に住む親友にその場で暑中見舞いを書きました。それから何年かして、親友の家に遊びに行った時、彼はその絵葉書を新築の家の壁に貼ってくれていたのです。「こんな昔の葉書、飾ってくれていたの?」と驚いて尋ねると、「だって、俺とお前のためにあるような言葉じゃないか」と彼は言いました。私は、彼がずっと私と同じ気持ちでいてくれたことがとても嬉しく、忘れられない出来事となったのです。

人間は、考え方が似ている人や同じ趣味をもつ人と仲良くなりやすいことは確かです。しかし、何もかもが同じ趣味趣向の人間は存在しません。似ているようでも、実際の中身はじゃがいもと玉ねぎぐらい違うものです。お互いの「違い」を認め、リスペクトする姿勢から真の友情は生まれるのだと思います。そして、価値観の多様化や国際化が進むこれからの社会で活躍する皆さんには、全く違う考えの人とも時に意見を折り合わせ、協力し合って生きていく力が求められています。学校はそういった人間関係の築き方を学ぶ場でもあるのです。

話は変わりますが、7月22日から本校は、体育館・武道場がリフレッシュ工事に入り、使用できなくなります。体育館の同好会は、大宮北小、大宮東小、植竹小の体育館等をお借りし、武道場の同好会は、本校校舎内を中心に活動する予定です。この夏も厳しい暑さが予想されます。学校では、運動部にWBGT測定器を用意し、暑さ指数が31を超える時間帯は運動を禁止します。基準を下回っている場合でも、練習前後の健康観察、最低でも30分に1回の水分補給を徹底し、熱中症予防に十分配慮した活動を行っていきます。また、熱中症予防には、十分な睡眠時間の確保と朝食が必要不可欠です。さらに、十分な量が入る水筒と休憩時に体を冷やす保冷剤等を必ず持参するよう御家庭で御指導ください。熱中症に最大限配慮し、充実した夏休みにしましょう。